

学校で取り組む IT 活用授業研究の実践

玉造町立手賀小学校 数登 直樹（すとうなおき）

1 実践の目的

児童の学習意欲を高め、わかる授業を実現するための情報機器の効果的な活用方法を全職員が授業実践を通して究明する。

2 活用した物や適用した授業

(1) 普通教室や特別教室において、校内 LAN で結ばれたコンピュータと液晶プロジェクタで構成できる学習環境を想定し、教科の指導法の改善や充実のための授業研究を行った。

(2) 本校で活用した機器

Server Windows2000Server 2台 Redhat Linux1台
Client Windows2000 30台 液晶プロジェクタ2台 その他デジタルビデオカラ・デジタルカメラ・スクリーン・USBカメラ等を活用

3 実施した授業実践の特徴

- (1) 情報教育主任（教育情報化コーディネータ）と授業者が共同で教材を開発した。
- (2) 機器の操作や習熟をねらいとせず、授業のねらいを達成するために活用した。
- (3) 一般的なソフトウェアを用い、発達段階を考慮した操作性の良い教材を作成した。
- (4) 教材利用に当たっては、著作権や肖像権に配慮した。
- (5) 授業は全員で参観し、情報機器を活用した効果を検証した。
- (6) 本校で実施した授業実践
 - ① プレゼンテーションソフトと動画教材を活用した教材提示の工夫
 - ・ 6年生体育「跳び箱」 ・ 5年生家庭科「針と糸を使ってみよう」
 - ② プレゼンテーションソフトと動画を活用した対話的な教材の作成
 - ・ 4年生国語「手話との出会い」 ・ 1年生国語「言葉で遊ぼう」でのしりとり教材
 - ③ 保健学習での情報機器等の活用
 - ・ 3年生「正しい歯みがき」・・・USBカメラとプロジェクターを活用した指導事例
 - ・ 高学年「病気の予防」・・・校内でのブラウザメールを活用し、養護教諭が児童を対象に実施した性や体の悩み相談
 - ④ 校内どこでも活用できる Web 教材の作成と活用
 - ・ 3年生音楽科 Flashアニメーション教材を活用したリコーダーの運指を学習する教材を作成し活用
 - ⑤ 校内BBSを活用した児童の作品の発表と交流
 - ・ 6年生国語科 「感動を言葉に」 詩の創作及び、メディアファイルを活用した表現技法の学習教材の作成

4 規模

本校は全校児童138名の単学級の学校である。1クラスは15人～29人
職員の平均年齢は42歳担任の男女構成比は男2：女5である。上記の実践では、1担任が1年半の期間に、3回の授業研究を実施した。